

学長のコラム

皆さんこんにちは！崎元です。着任後、初めての執筆ですので、私がどのような考え方で大学を運営しようとするかを知っていただき、教職員の皆様と価値観を共有したいと思い、以下に示す4つのミッションステートメントとして、まとめました。疑問、質問があれば、話に来てください。

4つのミッションステートメント

1. <人材養成による社会貢献>

- 4つの基本理念と「知識」、「技術」、「思慮」、「仁愛」の4つの基本綱領を尊重し、
- 学力と人間力を備えた保健医療分野の人材を育成し、社会に送り出すことにより
- 学生諸君の幸せと社会の幸福に貢献しましょう。

2. <教育・研究の質の向上>

- 高い国家試験合格率と就職率に代表される実績と伝統を堅持し、さらに
- 教育・研究の質を向上させるために、最新の設備、充実した教育スタッフ、最先端の研究陣を保持するとともに、
- 学生と教職員が成長するための最大限の努力を継続しましょう。

3. <意欲とやりがいのある明るい職場>

- 学生諸君が楽しく充実した学生生活を過ごして目標や夢を達成することを支援することに喜びを感じる
- 教員・職員それぞれにとって、仕事（教育、研究、大学運営等）に意欲と夢を持って取り組み、やりがいと幸せを感じ得る明るい職場になるよう また、
- 教員と職員が一体的に協働する職場になるよう努力しましょう。

4. <誇れる大学に>

- 学生、教職員、保護者、卒業生、社会の識者の意見に耳を傾けて、
- グローバル化、ユニバーサル（デザイン）化への対応を含めた充実発展に尽力し、
- 学生、教職員、地域の人々が、熊本保健科学大学を、熊本・九州・日本に誇れる大学にしましょう。



4月1日付辞令交付式

◆船津理事長挨拶

平成 27 年度、年度始めに当たり、それぞれの先生方に辞令をお渡し致しました。また別室にて、崎元学長にも学長辞令をお渡し致しました。まずは、それぞれの先生、職員の皆様、本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

新しく来られた先生方もおられますので、本学について一言触れたいと思います。専門学校、短大とそれなりに長い歴史と伝統がありますが、平成 15 年、今から 12 年前にそれらを引き継いで、四年制大学、熊本保健科学大学として開学致しました。臨床検査技師、看護師、2 学科を持つ保健医療分野の大学として出発しました。四学年まで埋まれば、約 800 名規模の小さな大学でした。「小さいながらキラリと光る」大学を目指してスタートしたわけです。その後、この規模では安定的な大学運営は難しいということで、1,700 名～1,800 名の規模を目指し、リハ学科 3 専攻、大学院修士課程、助産別科、認定看護師教育課程など増設して、今日 1,600 名規模の大学となりました。これは、先の小野学長を先頭に教職員一同の頑張りでありました。更には、この間、九州の私大の中、保健医療分野では、トップ層を目指す、トップ層に入ろう、と時に声を出して努力して参りました。何をもちってトップ層かは、明確ではないですが、とにかく学生の質、国家試験合格率、就職率等諸々であります。この分野を目指す学生の質がトップ層であるということです。幸い先生方の努力で、この 3～4 年で大学の評価が、そして高校生からの評価が高まってきたと思います。

いよいよ今年度より新しく崎元学長が就任されます。崎元学長は、工学分野の高名な先生であります。熊本大学学長 6 年、放送大学熊本センター所長、熊本市教育委員長、熊本県立大学評価委員長等々を歴任され、国立大学、公立大学、教育委員会を通しての教育行政、放送大学を通しての社会教育と幅広い経験と見識を持っておられます。

私共は、多少評価は上がってきたとは言え、まだ若い小規模の私立大学であります。「保健医療の教育・研究を通して、社会貢献できる医療技術者を養成する」というミッションのもと、やがて来たるべき、少子化による厳しい大学環境の中、先生の幅広い見識を持って、ご指導いただけることを期待しております。皆で一致協力して、更なる大学の質の充実を目指して進んで行きたいと願っております。どうぞ本年も宜しくお願い致します。

◆崎元学長挨拶

分野は少し違いますが、大学の管理、運営ということでは若干の経験があります。私もこの大学は、大変立派な大学だと思います。非常に学生諸君も成績が良くなっていますね。それをしっかり守り続ける。例えば国家試験の合格率あるいは就職率で高いレベルを保ち続けるというのが我々の一つの責任だと思います。もう少し時間を使えれば、さらに質を良くする。規模は、理事長が言われたように、そ

んなに大きくする必要はないですが、質を上げるということ、ここ数年やっていかないといけないのではないかと思います。

新任の方は特に初心を忘れないようにしていただきたい。今の「やるぞ！」という気持ち、自分の職責を果たすという気持ちを大事にして下さい。外から入ってきた皆さんが、この組織に対して何か感じるがあると思います。特に何かおかしいのではないかと、私には理解できないという気持ちを大事にしてほしい。それを何か改善・改良につなげようというように思っています。自分が不思議だ、おかしいなと思ったことをそれなりに意思表示をして、それを改善、良い方向に向けて下さい。この1年は大事です。新たに委嘱された方につきましても、その職責については初心を持ってあたっていただくとより良い結果が出ると思います。今日の皆さんの辞令交付におきましては、初心を大事に組織の改善・改革につなげるというような心持ちを持っていただけたらと思います。自分が幸せになるという事と、組織が良くなるという事とできるだけオーバーラップできるようになると良いと思います。組織の目的と自分の目的が違うと、決してうまく行きません。例えば、学生が、ここでしっかり育てて社会へ出ていくということに対して、自分たちが貢献して、それに喜びを感じるということ、そのことによって、自分が幸せになれると一番良いかなと思います。同じ日に辞令をもらった者として一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

4月・5月の主な行事予定

| | |
|-----------|--|
| 4月 1日 (水) | 新規採用者オリエンテーション、辞令交付式 |
| 2日 (木) | 入学式、後援会総会、実習認定式(看護学科新3年次)、崎元学長就任祝賀会(ホテル日航熊本) |
| 7日 (火) | 新入生歓迎会(メルパルク熊本) |
| 13日 (月) | 平成26年度成績優秀者表彰式 |
| 16日 (木) | 杏友会歓送迎会(熊本ホテルキャッスル) |
| 20日 (月) | ラングジット大学PT教員2名来学(～21日) |
| 25日 (土) | 全学科4年次保護者会 |
| 5月 9日 (土) | 看護学科3年次保護者会 |
| 15日 (金) | 開学記念日(休日) |
| 17日 (日) | 西里校区グランドゴルフ大会及び健康測定会 |
| 27日 (水) | 学校法人銀杏学園理事会・評議員会(化血研会議室) |

国家試験合格状況

()は全国

| | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 合格率(%) | 昨年の合格率 |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 第101回 保健師 | 113 (16,622) | 112 (16,517) | 99.1 (99.4) | 92.4 (86.5) |
| 第104回 看護師 | 113 (60,947) | 109 (54,871) | 96.5 (90.0) | 100.0 (89.8) |
| 第98回 助産師 | 20 (2,037) | 20 (2,034) | 100.0 (99.9) | 94.7 (96.9) |
| 第61回 臨床検査技師 | 91 (4,298) | 89 (3,528) | 97.8 (82.1) | 98.3 (81.2) |
| 第50回 理学療法士 | 48 (12,035) | 44 (9,952) | 91.7 (82.7) | 95.7 (83.7) |
| 第50回 作業療法士 | 46 (5,324) | 43 (4,125) | 93.5 (77.5) | 95.3 (86.6) |
| 第17回 言語聴覚士 | 42 (2,506) | 41 (1,776) | 97.6 (70.9) | |

4月2日(木)に入学式を執り行い、医学検査学科120名、看護学科120名、リハビリテーション学科理学療法学専攻48名、生活機能療法学専攻47名、言語聴覚学専攻46名、大学院保健科学研究科7名、助産別科20名の総勢408名の方々が入学されました。当日は、晴天に恵まれ、たくさんの保護者の方々にもご出席いただきました。この度は、ご入学おめでとうございます！

入学式



*

小野友道学長壮行会

3月31日(火)に小野友道学長壮行会を行いました。小野前学長が本学で勤務された8年の間に撮られた多くの写真上映会の他、教職員がそれぞれ思い思いにメッセージを述べられ、とても感動的な会になりました。小野前学長8年間ありがとうございました！これからの先生のご活躍を教職員一同祈願します！



崎元達郎学長歓迎会

4月2日(木)に崎元達郎学長就任祝賀会を行いました。学長に就任された経緯やご趣味等を話して下さり、崎元学長の一面を垣間見ることができました。崎元学長、これから宜しくお願いします！



記念植樹

3月30日(月)に船津理事長と小野前学長による記念植樹が行われました。

船津理事長から古希祝として「ソテツ」を、小野前学長からは退職記念として「コブシ」を寄贈いただきました。

また、お二人からは杏友会へのご芳志も頂戴しました。有難うございました。



ソテツ



コブシ

第2回FDセミナー

3月23日(月)に公立大学法人国際教養大学の鈴木典比古学長を講師にお迎えし、2014年度第2回FDセミナーを開催いたしました。



鈴木学長は国内教育関連機関の要職を歴任され、現在は中央教育審議会大学教育部会委員、大学設置・学校法人審議会委員、国立大学法人評価委員会委員としても活躍されています。

FDセミナーでは現在の日本の大学教育が抱えている課題として学生の主体的学修、大学教育の量と質、大学教育システム全体のガバナンス確立を挙げられました。これらの課題を解決し学士課程教育の質的転換を実現するために、カリキュラムポリシーとともにコースナンバリングシステムを構築すること、ディプロマポリシーの裏付けとしてシラバスを整備することの重要性と具体的な取り組みをご講演いただきました。

約100名の参加者からは「シラバスの目的が明確になった」「学士力の質を語る上で教育力が重要である事を再認識した」「授業は教員と学生のコラボレーションである事を再認識した」などの声が多数寄せられました。(文責:佐藤学務課長)

私の秘話ヒストリー

今回は、齊藤事務局長に投稿していただきました。

北大恵迪寮

彼此40年程前、大学入学を機に「恵迪(けいてき)寮」に入寮した。札幌農学校の寄宿舎を起源とし、昭和8年に建て替えられたままの木造2階建て、バンカラを地でゆく学寮だ。約20畳の一室に5名が住まい、全体で57部屋、教養部の男子学生300名弱が寝食を共にした。自治寮の誇りを盾に、法に触れること以外は何でもあり、学修よりも人生経験が優先される滅茶苦茶で不思議な世界であった。

夜中、先輩の寮生が「ストーム」と称して部屋に乱入し、皆で肩を組んでほとんど意味のない振付動作を繰り返した。新入寮生がもつぱらの標的だ。秋には、寮祭の一環で赤禪パレードなる行事があった。身に着けるは赤い禪ひとつ。究極のTバック軍団だ。学内の寮を出発し、寮歌を高吟しながら札幌の目抜き通りを練り歩く。すすきの交差点でストームを繰り返し、最後は大通公園の噴水の中で暴れた。市民はこの蛮行を許してくれた。

斯かる寮生活の一端が、1975年NHKの「新日本紀行」という番組で紹介された。若き日の筆者の姿も瞬間ではあるが映っている。

「都ぞ弥生、北大恵迪寮」、現在ではWeb上の動画で覗くこともできる。時を経て、今なお旧交を温めるのはこの時の友が多い。紛れもなく、古き良き時代ではあった。



(文責:齊藤事務局長)

動物実験特別講演会

3月30日(月)に特別講演会「動物実験を取り巻く環境の変化とこれからの動物実験」が開催されました。講師は浦野徹特任教授(自然科学研究機構)、松田幸久准教授(秋田大学)で、それぞれ「環境省および文部科学省による法令、基準、基本指針に基づく動物実験実施体制の進化と今後の課題」、「動物実験をめぐる諸外国の制度—大学においては、どのような動物実験実施体制が必要か—」についてご講演いただきました。

動物実験の外部検証を受け、動物実験に対する教職員の啓発の一つとして前学長から依頼された企画であり、動物実験に関する理解が深まる貴重な講演でした。

(文責:動物実験委員会事務局)

